

星稜 サ・エ・ラ

seiryo ça et là 2014 No.34

inaokigakuen news letter



特集

星稜高等学校野球部

2年連続17回目の甲子園大会出場！
「必笑」が生んだ奇跡と甲子園での活躍

星稜教職員バトンメッセージ

星稜アレコレ

Amitié Seiryô ～星稜の友～

『親業』支援コラム「オトナのミカタ」

総合研究所・地域連携センターだより

星稜 Information

皆様の声援を
パワーに
甲子園出場！

星稜サ・エ・ラに関する
アンケート実施中！

詳しくはP14をご覧ください



星稜高校野球部

2年連続17回目の甲子園大会出場！ 「必笑」が生んだ奇跡と甲子園での活躍

この夏、星稜高等学校野球部は2年連続となる甲子園大会出場を果たし、昨年を上回る成績を残しました。
惜しくも3回戦で破れはしたものの、石川県大会決勝での「奇跡の大逆転」や選手たちの「必笑」の姿勢が
全国的な話題になるなど、例年以上に大きな感動をもたらす大会となりました。





村中 健哉 主将

星稜高等学校 野球部 林 和成 監督

素直さと貪欲さ、 「必笑」の姿勢が 起こした奇跡の勝利

林 和成監督(以下:林) 甲子園大会を終えて、村中主将をはじめ選手たちに対しては「よくやってくれた」という思いでいっぱいです。今年のチームの3年生には、「去年より技術が劣っている」と言い続けてきたんです。そのチームが石川大会を勝ち抜き、甲子園でも昨年以上に勝ち進むことができました。技能は足りなくても、素直さと貪欲さという強さがあった。それが今年のチームの特徴だったと思います。

村中 健哉主将(以下:村中) 先輩たちに比べて力が足りないことは自分たちでもわかっていました。だから、言われたことを確実にやる素直さだけは忘れないようにしようと思ってきました。今年の3年生は入部当時から人数も少なかったのですが、ここまで一人も欠けることなく一緒にがんばってくることができました。

林 その3年生が中心になって考えた今年のキャッチフレーズが「必笑」。この「必笑」の姿勢があったからこそ、石川大会決勝で9回から8点差を引っくり返した逆転劇も起きたんです。

村中 「必笑」というフレーズを決めたのは、去年の秋の大会で負けてしまった時でした。どんな時でも笑顔で、全力でプレーしようという決意を込めて「必笑」という言葉に決めたんです。県大会の決勝では、9回裏8点差という状況なのにチームに「負ける」という雰囲気があったくなかったことが印象に残っています。秋の大会の頃の自分たちだったら、リードされた時点で落胆していたかもしれません。チームの成長を感じた瞬間でした。

林 客観的に見れば諦めてもおかしくない状況にもかかわらず、選手たちはアウトになってベンチに戻る仲間を笑顔で手を叩いて迎えました。そんな彼らの姿を見て、私も「まだいける」と思いました。勝った瞬間は、本当に嬉しかったですね。

村中 試合前には、勝ってみんなで喜び合っているイメージを思い描いて決勝戦に臨みました。まさかそのイメージ以上のことが起こるとは思わなかったもので、信じられないという気持ちがいちばんでした。でもひとつの大きな目標を叶えられたことが嬉しかったで



す。一緒にがんばってきた今年の3年生は、半分がベンチに入れませんでしたが、でも甲子園に行けば全員揃って甲子園で練習ができます。「3年生みんなで甲子園のグラウンドに立つ」、それが僕たちの目標だったんです。

16年ぶりに

甲子園で歌われた

星稜高校校歌

林 甲子園での試合を控えて選手たちによく言ったのは、「石川大会決勝の相手だった小松大谷高校の選手たちのためにも勝つ」ということでした。小松大谷を始めとする石川県の球児たちのためにも、恥ずかしい試合をして帰ることはできません。昨年とはまた違ったプレッシャーもありました。

村中 もし自分が小松大谷の選手の立場だったら、と考えました。もし星稜があつさり負けてしまったら、「自分たちが甲子園に行った方がよかったじゃないか」と思うはず。そう思わないためにも勝たなくてはと思います。もうひとつ、去年、甲子園に連れて行ってくれた先輩たちへ恩返しするためにも、甲子園で勝ちたいと思っていました。

林 目標は大きく掲げているので、3回戦敗退という今回の結果で十分だとは思いません。思っています。しかし16年ぶりに甲子園で校歌を歌うことができましたし、昨年からまた一歩進んで新しい星稜高校野球部の歴史をこのチームがつくってくれました。その点については満足しています。

村中 甲子園でのプレーひとつひとつが楽しかったです。県大会決勝で「必笑」の大切さを実感したからか、たとえ劣勢でもみんな笑顔

稲置学園 全国大会出場の部活動

金沢星稜大学

日本聴覚障害者陸上競技選手権大会
・1500m 第1位 森光 佑矢



・800m 第2位 沖田 耐芽



星稜高等学校

第2回ユースオリンピック競技大会
南京大会 トランポリン競技
・銀メダル 中野 蘭菜



第39回全国高等学校
トランポリン競技選手権大阪大会
・個人競技 男子の部 第1位 堺 亮介
第3位 宮野 冬馬
・シンクロナイズド 男子の部 第1位
安藤 諒、宮野 冬馬
・最高難易度点 男子の部 堺 亮介
・団体競技 男子の部 第1位
堺 亮介、安藤 諒
市川 隆太、宮野 冬馬
・個人競技 女子の部 第1位 中野 蘭菜
第4位 平野 里歩
・シンクロナイズド 女子の部 第1位
平野 里歩、中野 蘭菜
・団体競技 女子の部 第1位
平野 里歩、松多 冠奈
中野 蘭菜、土屋志絵莉



全国高等学校総合体育大会陸上競技
・男子110mH 第7位 谷口祥太郎
・女子200m 第5位 秋田 理沙
・女子100m 第6位 秋田 理沙

星稜中学校

第45回全国中学校サッカー大会
・第3位



第31回全日本少年軟式野球大会
・ベスト16



今年の経験が 次につながるこれが これからの目標

林 今年の3年生たちが残してくれたものをしっかりと継承していかなければいけないと思っています。指導の面では引き続き、保護者をはじめ、地域の方々や学園関係者に応援されるチームをつくっていきたいです。野球の面では、今年を上回る成績を残せるチームにしていきたいと考えています。夏の甲子園で3勝、あるいは8年間出場できていない選抜

で試合に臨むことができました。でも時間が経てば経つほど、もっと勝ちたかったという悔しさが大きくなってきました。この気持ちや経験を後輩に伝えるところまでが僕たちの役割だと思っています。後輩たちがこの夏に得たものを来年に活かしてくれて初めて自分たちの役目は終わりだと思うので、最後まで気を抜くことなく後輩たちと向きあっていたいです。



高校野球大会への出場が今年のチームを超える条件。それを実現できるチームをつくっていききたいですね。

村中 僕が星稜高校野球部で学んだことは、我慢することの難しさと大切さです。どんなに悪い状況であっても我慢して堪えて、信念を持って行動すれば次に進む道が開けることを学びました。これからの人生どんなに辛い状況になってもこのことを思い出して、負けずに乗り越えていきたいです。



で多くの方々に応援していただきました。「奇跡の試合」と言われている県大会決勝の大逆転も、もし無観客試合だったなら絶対に起こっていない出来事です。あの試合もスタンドからの声援は本当によく聞こえ、選手たちにもしっかりと届いていました。皆さんの応援にとっても感謝しています。





星稜中学校
前浜 準吾 講師

「理想の授業」に 自分らしさを加えたい

今年の4月から、星稜中学校で社会科学を担当しています。昨年は星稜高等学校の教壇に立っており、それが私の教員としての第一歩でした。

私自身も星稜高校の卒業生。振り返れば、教員という職業に就くことを思い描いたのは高校生の頃でした。3年生の時に日本史を教えてくださいました。担当教諭の授業がとても楽しくて、自分が好きな歴史をこんな風に生徒に教えられたらいいなと思ったのが最初のきっかけになりました。

「教員になろう」と決意したのは、星稜高校での教育実習です。実習期間の最終日、生徒たちからメッセージが書かれた色紙をもらったんです。私の授業を「わかりやすい」と言ってもらえたことが嬉しくて、教員という進路を選びました。

同僚となった現在でも、恩師である担当教諭の授業は私の理想の授業です。しかし、それを単純にコピーしているだけはいけません。自分が生徒として経験した担当教諭の授業をベースに、私にしかできないオリジナリティを加えて、さらにいい授業を作っていきたい。それが今の私の目標です。授業以外の職務がい

「この科目が好き」。 その気持ちを育てたい。



教員としての私の強みは「声の大きさ」。
生徒を巻き込んで授業を盛り上げていきます。

ろいろあったとしても、教員の本分はやっぱり授業です。私の授業に対する生徒たちの評価が、教員である私の能力への評価なのだと考えています。どうしたらいい授業だと思ってもらえるのか、先生になっても毎日が勉強です。

「おもしろい授業」が 生徒たちの「好き」になる

中学生を受け持つようになって感じるのは、「生徒たちの反応のよさ」です。興味を持ったたりおもしろいと感じたりした時は、大きな反応が返ってきます。反対に、つまらなければ反応は一切ありません。このダイレクトな反応が、私にとって自分の授業に対する重要な判断基準になっています。

私は、特に中学校では「おもしろい」と感じてもらうことが何より大切だと思っています。テストでいい点数を取ることだけが学ぶ目的ではありません。どんな学問だって、それをおもしろい、

好きだと感じられなければ深く掘り下げていくことはできないと思うんです。

中学生という時期は、いろいろな分野の学びと出会う時期です。私の授業がつまらなかつたら、その生徒が歴史を好きになるチャンスを潰してしまうかもしれない。だからこそ、おもしろい授業を追求していきたいんです。

私自身も日本史が好きで、大学では古代日本史を学んできました。古代の日本についての知識が社会生活の上で直接的に役立つ場面は少ないでしょうね。でも、好きなことを学んできた経験は私の財産に他なりません。そんな人生の財産と出会う機会を生徒に与えるのが教員の役割ではないかと思っています。

高い点数を取るよりも、この科目が好きだと思いう気持ちを育てたい。そのために、毎日情熱を持って生徒たちの前に立ちたいと思っています。



SEIRYO JUMP PROJECT (SJP) 報告

SJPとは「自分を超越する力をつける」を合い言葉に、学生が学内外で様々な活動に取り組むことで、論理的思考やチームワークなど、社会で必要となる力を養うことを目的とした活動です。

昨年からの継続チームの一部

★今年も「東北を笑顔にしようプロジェクト」始動!

8月21日(木)〜24日(日)、震災のあった東北の子どもたちを笑顔にしたいと、昨年発足した「STEP(星稜東北笑顔プロジェクト)」の学生た



ちが、今年も宮城県松島市を訪れました。「東松島市立宮戸小学校」では、子どもたちの夏休みの宿題をサポートし、一緒に「おにごっこ」や「氷おに」など体を動かす活動も行いました。また、被災地を巡り、復興している様子も見て回りました。実際に現地を訪れなければ分からない現状を、学生たちは体感しました。

マリンピア松島水族館

震災復興写真展

「ご支援・ご協力を頂いた全国の皆様へ感謝を込めて」



★地域清掃隊 出動

地域の緑化・清掃作業を目的に活動している「クリーン&グリーン」は、大学の地域連携センターとしても活用されている「旧穴水町立兜小学校」の清掃と金腐川(大学裏の川)のゴミ拾いを行いました。また、兜小学校

では清掃作業だけでなく地域の方とも交流し、翌朝は「かあさんの学校食堂」で郷土料理を堪能しました。



★短大 24時間テレビ チャリティ募金に参加

8月31日(日)、「24時間TVチャリティ募金」チームの学生46名が募金活動に参加しました。学生たちは、県内3箇所のショッピングセンターを会場として、慈善活動を行いました。夜には20名の学生が本部会場のテレビ金沢でアウンサーらと共に番組のフィナーレを飾りました。



今年度新たに採択されたチームの一部

★授業づくり隊

「テーマ」学生と教員が共同して創る授業の企画と実施、身近な存在から学ぶ異文化理解、

代表学生より

通常、学生が受講する授業は、教員がその目的・内容・達成目標・進め方・評価方法を決めて実施しています。この活動は、私たち学生が「こんな内容の授業があればいい」「こんなテーマについて授業を企画・実施してもらいたい」という思いを教員に提案します。

山本 詩織(経済学部3年次)



★ Nature Adventure

「テーマ」こどもたちとセンス・オブ・ワンダーを感じよう！

代表学生より

教員を目指す学生がこどもたちと一緒に「センス・オブ・ワンダー」(自然体験などを通して得られる感動)を感じることで、自然の大切さや理科のおもしろさを知り、理科教育に対するの興味・関心の向上を目指します。また、児童に理科の面白さを伝える能力を養います。

荻沢 誠(人間科学部3年次)



★ SeiTan Act! 海での課外実習

8月21日(木)～23日(土)の日程で、福井県越前海岸において、ダイビング実習が行われました。参加した学生4名はダイビングスキルを学びながら、PADIのライセンスを取得しました。ダイバーとしての一歩を踏み出したみなさん、これを機に世界中のさまざまな海でダイビングを楽しんでください！



★ 女子学生が力を合わせて サバイバル合宿

9月13日(土)・14日(日)に夏休みの最後を締めくくrowing行事、SeiTan Act!「サバイバル合宿」が今年も能登島から穴水町にかけて行われました。能登島では、釣り体験や農業体験をして多くの食材を獲得し、夜は携帯電話の使えない穴水町兜小学校で火起こしや自炊をすることで、普段の生活とかけ離れた2日間を過ごしました。



★ 初!エンパワーメント プログラム

8月4日(月)～8日(金)、1年Aコース74名を対象に、海外から留学生を招いて、様々なテーマでグループディスカッションを行いました。留学生は、生徒の自宅でホームステイをし



ながら、日本の良さや海外との違いを発見する機会になりました。最終日には、プログラムで得た成果・目標について一人一人がプレゼンテーションを行い、語学力と自己表現力にも自信がついたプログラムになりました。

★ 1年関東方面大学見学会 2年関西方面大学見学会

8月5日(火)・6日(水)に1年生40名が関東方面の大学見学会に、8月3日(日)・4日(月)に2年生59名が関西方面の大学見学会に行きました。1年生は早稲田大学・一橋大学・東京工業大学を見学し、東京大学のオープンキャンパスに参加しました。2年生は京都大学・神戸大学の見学会と、立命館大学のオープンキャンパスに参加しました。大学生との懇談を通して、また歴史と伝統に触れ、志望大学進学へ向けて、夢を追い続ける決意を新たにしました。



★ 高 1・2年Pコース 課外実習

8月26日(火)・27日(水)、1年Pコース75名が白山登山へ、2年Pコース75名が岐阜県長良川へ課外実習に行きました。1年生の白山登山は、悪天候のため残念ながら途中で中止となりましたが、自然の厳しさを再確認した実習になりました。2年生は、8名乗りゴムボートでラフティングと呼ばれる急流下りや、小滝の岩肌を登ったり、滝つぼへジャンプをしたりする



★ 高 「うたがたり」で生徒を魅了!

7月9日(水)、地元石川県出身の俳優、吉野悠我さんによる特別講演が開かれ、演劇部や合唱部員など約60名が吉野さんのトークと歌に聞き入りしました。ふるさと石川の思い出や、海外公演のエピソード紹介と「陽は昇りまた沈む」「能登の夢」などを実際に歌い、発声法などの指導もしていただきました。両部員にとって大変刺激を受けた講演となりました。



シャワークライミングなどの体験をしました。日常とはかけ離れた大自然の息吹と力を、思いっきり満喫できた実習でした。

★ 高 緊張の部活動体験!!

8月25日(月)、中学生を対象に男女合わせて9つの部による、部活動体験が実施されました。はじめに、本校の概要と普段どのような活動や練習を行っているのかを説明し、その後、高校生と合同練習を行いました。最初は緊張からか、ぎこちない動きをしていた中学生たちも次第に熱が入り、最後には高校生に負けない気迫で参加していました。学校見学会とは、一味違う星稜高校の良さを、部活動体験を通して知ってもらう機会になりました。



★ 高 ワールドカップ 日本代表再び!!

サッカー部の安部雅志さん(2年)が、U-16(FIFA U-17ワールドカップ2015)日本代表チームの一員として、昨年に引き続き選出されました。日本代表チームは、8月26日(火)・9月3日(水)までタイのチョンブリにて直前キャンプを行い、続いて9月4日(木)・21日(日)までAFC U-16選手権タイ2014に参加しました。今後の活躍がますます期待されます。



★ 高 盛況! 星稜祭!!

9月11日(木)・12日(金)の2日にわたり、第53回星稜祭が開催されました。今年のテーマは「進撃」。1日目は、吹奏楽部と合唱部によるオーブニングコンサートに始まり、ドラマ「ラスト・シンデレラ」の主題歌を担当したバンド「ケラケラ」のライブと各文化部による企画や展示などが行われました。また、2日目は、各クラスによるテナントや特設会場での歌やダンスなどがにぎやかに催されました。今回は、両日開催のテナントも設けられ、今までにない挑戦に満ちた星稜祭でした。



★ 中 歌に夢をのせて

7月15日(火)、第14回合唱コンクールが稲置記念館にて行われました。大勢の保護者の方が見守る中、各クラスそれぞれのスローガンのもと、課題曲「Best Friend」と自由曲1曲が発表されました。1年生は初めてのコンクールということもあり、練習の成果を十分に発揮できなかったクラスもあったようですが、2・3年生はともに甲乙つけがたい感動のハートモニを会場で響き渡らしました。

金賞 3年A組 証
銀賞 2年A組 君に贈る詩
銅賞 3年B組 空も飛べるはず
2年B組 ハビネス
1年B組 今、咲き誇る花たちよ
1年A組 ありがとう



★ 中 すばやく、冷静に！ 防災訓練実施！！

7月15日(火) 11時に大地震が発生した想定で、県民が一齐に安全行動を行う訓練が実施されました。当日は合唱コンクールのため、この訓練日に先立ち7月2日(水)に中学でも実施しました。実際の災害の際に、冷静に避難するためには、慌てずに、すばやく行動することが大切だと、今回の訓練で学びました。



★ 中 サマースクール開講！

8月27日(水)～29日(金)、石川県立白山青年の家において、3年生58名がサマースクールに臨みました。青年の家での開校式の後、早速研修が始まり、食事以外の時間は集中して勉強に取り組みました。一人では中々続けられない勉強も、仲間と一緒にやることで受験生としての自覚をもつて進めることができ、参加者全員が達成感と充足感を感じた研修となりました。



★ 中高 6月からの主な 部活動成績

星稜高等学校

北信越高等学校体育大会
第52回北信越高等学校剣道大会

- ・男子総合・第3位
- ・男子最優秀賞 鍋谷 魁成

北信越高等学校体育大会
第50回北信越高等学校レスリング選手権大会

- ・55kg級
- ・第3位 矢後 公誠
- ・60kg級
- ・第3位 喜多 亮介
- ・66kg級
- ・第1位 中村 優太
- ・学校対抗戦・第3位

第48回北信越高等学校テニス選手権大会

- ・女子団体の部・第3位

北信越高等学校体育大会

- ・男子ゆか
- ・第1位 高田 治吉
- ・第3位 高田 満吉
- ・男子跳馬
- ・第1位 高田 治吉
- ・第2位 高田 満吉
- ・男子つり輪
- ・第2位 高田 治吉
- ・男子個人総合
- ・第1位 高田 治吉
- ・第3位 高田 満吉
- ・男子団体総合・第2位

北信越高等学校体育大会サッカー競技
・優勝

第53回北信越高等学校
陸上競技対校選手権大会

- ・男子110mH
- ・第1位 谷口祥太郎

- ・男子400m
- ・第2位 叶井 賢太
- ・男子3000mSC
- ・第2位 吉野 駆流
- ・男子三段跳
- ・第2位 林 牙唯正
- ・男子総合・第2位
- ・女子100m
- ・第2位 秋田 理沙
- ・女子200m
- ・第1位 秋田 理沙
- ・女子1500m
- ・第2位 五島 莉乃
- ・女子3000m
- ・第1位 五島 莉乃
- ・女子4×100mR
- ・第2位 南保みなみ、秋田 理沙
- ・女子4×400mR
- ・第2位 南保みなみ、安田 結実
- ・女子トラック・第2位
- ・女子総合・第2位

第16回石川県高等学校ゴルフ選手権大会

- ・男子個人
- ・優勝 中嶋 晃哉
- ・男子団体
- ・第2位 中嶋 晃哉、架谷 力
- ・楠 拓真、丸一 千紘

石川県高等学校総合体育大会

- 剣道競技
- ・男子個人
- ・第3位 鍋谷 魁成
- ・男子団体
- ・男子団体
- ・女子団体
- ・準優勝



□テニス競技

- ・女子シングルス
・準優勝 片口 夢
- ・女子ダブルス
・優勝 今井 未来、片口 夢
- ・女子団体 優勝

□空手道競技

- ・男子団体形 第3位
- ・女子個人組手
・第3位 坂田 佑果
- ・女子団体組手 第3位
- ・女子団体形 第3位
- ・女女子総合 第3位

□弓道競技

- ・団体男子の部 第3位

□体操競技

- ・男子つり輪
・優勝 高田 治吉
- ・第3位 高田 満吉
- ・男子ゆか
・優勝 高田 治吉
- ・第2位 高田 満吉
- ・男子あん馬
・優勝 高田 治吉
- ・第2位 高田 満吉

・男子跳馬

- ・優勝 高田 治吉
- ・第3位 岩佐 健太

・男子平行棒

- ・優勝 高田 満吉
- ・第2位 高田 治吉

・男子鉄棒

- ・優勝 高田 満吉
- ・第2位 高田 治吉

- ・男子個人総合
・優勝 高田 満吉
- ・第2位 高田 治吉
- ・女子ゆか
・第3位 上田 聖菜
- ・女子跳馬
・第2位 上田 聖菜
- ・女子平均台
・第2位 上田 聖菜

・女子段違い平行棒

- ・第2位 上田 聖菜
- ・女子個人総合
・第2位 上田 聖菜
- ・男子団体 優勝

□レスリング競技

- ・55kg級
・優勝 矢後 公誠
- ・60kg級
・優勝 喜多 亮介
- ・66kg級
・優勝 中村 優太
- ・準優勝 栗 晋太郎
- ・120kg級
・優勝 橘 幸佑
- ・学校対抗戦 優勝

□サッカー競技

- ・男子 優勝
- ・女子 準優勝

□バレーボール競技

- ・男子 第3位
- ・女子 第2位

□トランポリン競技

- ・Aクラス男子個人
・優勝 堺 亮介
- ・第2位 安藤 諒
- ・第3位 市川 隆太
- ・Aクラス女子個人
・優勝 中野 蘭菜
- ・Aクラス男子団体戦
・優勝 永田、藤原、市川、堺
- ・男子総合 優勝
- ・Aクラス女子団体戦
・第2位 平野、松多、中野、土屋
- ・女子総合 第2位

□水泳競技

- ・男子2000m平泳ぎ
・第3位 森 優之介
- ・男子2000m個人メドレー
・第3位 山田 涼太
- ・男子4000m個人メドレー

・第3位 山田 涼太

- ・男子4000mリレー
・第3位 高木、中谷、横山、山田
- ・女子100mバタフライ
・優勝 北田まあこ
- ・女子200mバタフライ
・優勝 北田まあこ

第27回全国高等学校将棋竜王戦石川県大会

- ・B級
・準優勝 白澤 星龍

第57回金沢市民体育大会陸上競技

- ・2部高校男子 5000m
・第1位 大江 碧
- ・第2位 越島 裕暉
- ・第3位 西 晃宏
- ・2部高校男子 走高跳
・第1位 沢本 幸徳
- ・2部高校女子 100m
・第1位 杉俣 朱里
- ・2部高校女子 3000m
・第1位 佐藤 彩羅
- ・第2位 井久保緩奈
- ・第3位 下田 志穂

第96回全国高等学校野球選手権石川県大会

- ・優勝

第55回夏まつり奉納剣道大会

- ・個人二段以下の部
・優勝 北井滉之輔
- ・第2位 割込 誠大
- ・第3位 表 大樹
- ・個人女子の部
・優勝 小村奈緒子
- ・第2位 蛇川 玲奈
- ・女子団体の部 第3位

第81回全国学校音楽コンクール石川県コンクール

- ・銅賞

金沢地区高等学校テニス大会

- ・女子シングルス
・準優勝 南 美彩季
- ・第22回石川県高等学校音楽コンクール
・優秀賞 二宮 由佳
- ・優秀賞 長崎 里奈
- ・優秀賞 杉澤 実央

北陸三県高等学校ゴルフ選手権

- ・優勝 中嶋 晃哉

第13回ジュニアゴルフ選手権

- ・優勝 中嶋 晃哉

第58回県下段別剣道選手権大会

- ・男子 二段の部
・第2位 北井滉之輔

第58回北陸陸上競技選手権大会

- ・男子3000mSC
・第2位 吉野 駆流
- ・女子1000m
・第3位 秋田 理沙
- ・女子2000m
・第1位 秋田 理沙
- ・女子8000m
・第2位 高野みちる
- ・女子三段跳
・第3位 橋 佑利

JOCジュニアオリンピックカップテニス石川県大会

- ・第3位 南 美彩季

第67回全日本バレーボール

- ・女子団体 準優勝

第28回金沢地区高等学校弓道大会

- ・女子団体 準優勝

- ・第64回石川県高等学校バドミントン根上大会
・女子 優勝

石川県高等学校新人大会

- ・競泳男子50m平泳ぎ
・第3位 森埜 海斗
- ・競泳男子200m個人メドレー
・第3位 山田 涼太
- ・競泳男子400m個人メドレー
・第3位 山田 涼太
- ・競泳男子400mメドレーリレー
・第3位 山田、森埜、石野、中谷
- ・競泳男子400mリレー
・第3位 山田、森埜、石野、中谷
- ・競泳女子100mバタフライ
・第2位 北田まあこ
- ・競泳女子100m自由形
・第2位 北田まあこ
- ・競泳男子の部 第3位

星稜中学校

第35回北信越中学校剣道大会

- ・女子個人戦
・第5位 中 生吹

第35回北信越中学校サッカー大会

第13回石川県ジュニアゴルフ選手権会

- ・女子12、14歳の部
・第5位 伊藤 里夏

第31回全日本少年軟式野球北信越大会

- ・優勝





☆梅ジュースを作ったよ!☆

6月、年中組が散歩に出かけた際に、梅の木を見てきました。「梅ってこんなふうになるんだね」と興味津々の子どもたち。みんなで梅ジュース作りをすることになりました。バスで近くのスーパーに出かけ、梅、氷砂糖、りんご酢を買って、梅はきれいに洗ってヘタを取り、容器に1個1個入れていきました。「(梅ジュース)早くできないかな」と毎日のように眺める子どもたち。7月には梅ジュースが完成。「おいしい」「すっぱい」と子どもたちのいろいろな声が聞こえてきました。



☆プール遊び☆

年少組にとって初めてのプール。初めは、ちよびりドキドキ不安だった子どもたちも、フニさん歩きや宝探し、浮き島でお舟ごっこ、水鉄砲などみんなでいろいろな遊びを楽しもううちに、笑顔でいっぱいになりました。



☆わくわくキャンプ☆

7月23日(水)・24日(木)に、年長組がわくわくキャンプ(お泊まり保育)に参加しました。金沢星稜大学の学生さんもお手伝いに来てくれました。みんなで話し合って決めた夕食朝食のメニューは、焼きそば、フルーツパフェ、サンドイッチ。スーパーに材料を買いに行き、役割を分担し、協力して作りました。手作りの梅ジュースで「カンパ〜イ」。楽しい夕食が始まりました。お家の人と離れて、ちよびり不安だった子どもたちも「来てよかった」とにっこり。友達、先生、大学のお兄さん、お姉さんと楽しい時間を過ごしました。



☆夏まつり☆

芝生の園庭に「わなげでボン」「的あてバラダイス☆」「わくわくゴルフ」の3つのゲーム屋さんがオープン。子どもたちと先生、保護者のみなさんが協力してできたゲーム屋さん。わなげでは、新聞紙で作った輪を持って「入るかなく? やった〜! 入った!」とガッツポーズ。的あてでは、大好きなキャラクターに向かって上手く投げられるかな? 「え〜い!」。ゴルフではクラブを持って真剣そのもの。ころころころがったボールが入ると満面の笑顔が見られました。その後は、地域の方にも参加いただき、手作りのうちわを持って一緒に盆踊りを踊りました。



☆プールあそび☆

暑くなると玄関ホールに、毎年、組み立て式のプールが登場します。水遊びが大好きな子どもたちは、大きなプールへ入って水かけごっこをしたり、魚になったかのようにもぐったり、小さなプールでは魚すくいをしたりしています。水がかかると「きゃあ〜!」ととっても嬉しそうなお声が聞こえてきます。毎日、空を見上げて晴れることを祈っている子どもたちです。



北國銀行で活躍する 「星稜」の卒業生



北國銀行 小松支店 支店長代理

永田 聖子

(星稜女子短期大学(現・金沢星稜大学女子短期大学部) 第19期卒)

経験を生かしお客さまの立場に立つことを
第一に心がけています。

星稜女子短期大学(現・金沢星稜大学女子短期大学部)を卒業後、北國銀行に入行し16年目を迎えました。後方業務や窓口業務、FP(ファイナンシャルプランナー)業務の担当を経て、今年の7月から小松支店に勤務しております。当店は小松市役所近くに位置し来店客の多い店舗です。

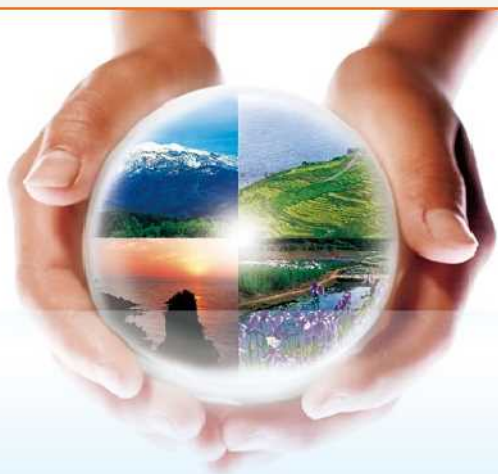
男女雇用機会均等法により当行では多くの女性が結婚・出産後も継続して働いております。私自身もその中の一人です。出産と子育ての壁にぶつかり仕事を続けることに迷いも

ありましたが、上司の理解や同僚の協力、そして家族の支えのおかげで今に至っています。私は現在FPを担当しています。お客さまの方からご用件や相談内容をお伝えいただける窓口と違い、FPは銀行側から提案する事が多いため、お客さまとの会話の中からニーズを探り、そして喚起しなければなりません。そのためには金融商品や法令に関する知識などが必要不可欠であります。

結婚や出産で家族が増えると、住宅購入資金や将来必要となるであろう子供の学費、自分たちの老後の生活費など、独身時代には漠然としか考えていなかったことも、実際に自分が身をもって体験したことにより将来の資産設計がいかに大切かということがよりお客さまに伝わるようになりました。

支店長代理となつてからは、上司から後輩育成も大事な仕事だと言われ、後輩への指導にも力を入れて取り組んでいます。指導するにはいろいろな事務知識が必要だと思い、今まで担当していなかったローン業務にも積極的に携わってきました。今でもたくさん学ぶ事があり、日々勉強です。

今年の星稜高校野球部の逆転からの甲子園出場、そして本大会での粘り強いプレーは見ていてとても励みになりました。生徒、学生の皆さんも何事にも粘り強くチャレンジしてください。



一緒に守りたい、今日があります。
ともに創りたい、未来があります。

ふるさとの今日を、明日につないでいく。

地域のみなさと、未来をひらいていく。

ふるさとに暮らす人々が、

今日も、明日も笑顔で過ごすことができるように。

北國銀行は、これまでこれからも

地域とともに歩む銀行であり続けます。

『親業』支援コラム

オトのカタミ



金沢星稜大学 教養教育部
岡本 芳和 准教授

グローバル化が進む中での英語教育



近年、急速に発展を遂げる社会や産業界において、「グローバル化」ということは頻りに聞かれるようになりました。みなさんは、この「グローバル化」ということを聞いて、真っ先に何を思い浮かべますか。あるいは、「グローバル化」として必要なことは何？」と聞かれた時にどんなことを考えますか。おそらく、ほとんどの人が「英語」ということを思い浮かべたことでしょう。しかしながら、同時に「英語がしゃべれない」「英語がわからない」という意見をもった人もいます。中学・高校で6年間も英語を勉強したのに、英語がしゃべれない、わからない。その原因は英語の必要性を感じていなかったからでしょう。日本では、英語が話せなくても生活はできます。生きていきます。日本から一歩外に足を踏み出したとき、日本語は通じません。そこでは英語が必要になってくるのです。では、世界共通の言語、すなわち、英語はどれくらいの人と話しているのでしょうか。

世界共通語は「英語」だと漠然と知っている人はたくさんいるでしょう。Harvard Business Reviewによると、世界の人口は約70億人で、そのうち、約17.5億人が実用的に英語を使用している。英語人口（ちなみに、英語ネイティブはこの中の約3.9億人であると言われています。簡単に言うところ、英語がわかれば、4人に1人の割合で世界の人とコミュニケーションがとれるということになります。また、現在インターネット社会が急速に発展しています。クリック一つで世界の情報に一瞬でアクセスできる時代です。そのインターネットで使われている言語は7割以上が英語です。つまり、英語がわかれば、その情報を理解できるということです。逆にわからなければ、多くの情報を理解できないということです。このようなことから、英語は世界言語である、もしくは、なりつつあると言ったことができ

ます。例えば、海外旅行した時、空港の掲示板を思い出してみてください。その国のことばと英語が必ず表示されています。英語を学習することは決して無駄なことではないのです。子どもは成長し、大人になり、社会に出ていきます。その成長過程で、学校教育を通して、彼らは英語を学習していきます。

学校教育の中で英語をどのように学習したらよいのでしょうか。私の答えは、「やる気」と「継続」です。これは英語学習に限ったことではないかもしれませんが、「やる気」という意識があれば、英語の力は伸びません。そこには「英語が必要なんだ」という意識すら生まれません。学習者に「やる気」を注入する方法はいろいろありますが、一つの大きなきっかけは授業です。その授業の中で、いかに学習者をひきつけ、意識改革できるかがポイントの一つになります。私は授業の中で毎年工夫をしています。ある項目の説明の仕方、課題の出し方、授業のやり方など、どれ一つとっても昨年だめだったところは改善して、それを提供しています。私自身よいと思つて授業でやったとしても、学習者がそれによい反応を示さないとだめですし、だめなものは改善しなければ、私自身の成長につながりませんから。

次に、「継続」について説明します。私は授業中、学習者に対して、「英語の学習はトレーニング。一種の筋トレ・ダイエットのようなもの」と謳っています。英語の学習に必要なと感じて、いかに毎日継続できるかが重要になります。例えば、週に1度12時間英語学習をしたとしても、英語の力がアップするわけではありません。次の日がテストであればこれは有効でしょうが、毎日1時間、1時間半と学習したほうが効果的なのは明らかです。ただこの「継続」に関しては、管理が難しいです。なぜ

ならば、毎日学習者と一緒に生活するわけではないし、学習者が学習に取り組んでいるところをチェックすることが不可能だからです（しかしながら、インターネットを使用した学習の中で、学習者の学習の進捗状況を把握できるシステムもあります）。従って、先ほど述べた「やる気」が関係してくるのです。必要だと感じれば、自ずとコツコツ積み重ねることができるといふことです。

最後に、どのような目標を立てて、英語を学習すればよいのかについて考えてみましょう。一般的には、英語を話せるようになればいいと考える人はたくさんいると思います。それは間違っていないかもしれませんが、私としては「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能すべてにおいて目標を立てて、レベルアップすることが必要だと考えます。話せるだけで知識がなければ、内容のない会話になってしまいます。読んで内容を理解しても、話せなければ自分の意見を主張することはできません。このようなことは社会に出て通用しないでしょう。そして、4技能に加えて、「使う」ということが重要です。4技能がそれぞれ優れていても、英語が使えないと意味がありません。それがネイティブレベルでなくてもいいと思います。実際に英語が使えるようになって、初めて世界が開けると思っています。英語を使って、「自分を表現する」、アピールする、思っていることを伝える、やりたいたいことを伝える。それができた時に、コミュニケーションができた実感するのではないのでしょうか。今私の心の中にある英語の教育観は「英語を通じて、学生が自分の世界を広げる喜びを知る」ことです。これは、10年前の私の教育観とは少し異なっています。グローバル化の波、金沢星稜大学の進むべき道が現在の私の教育観を作り上げています。これをモットーにこれからも日々励んでいきたいと考えています。

総合研究所・ 地域連携センター だより



総合研究所

金沢星稜大学学会・ 地域活性化シンポジウム 「環境問題を地域活性化に つなげるために」を開催

金沢星稜大学学会は9月2日(火)、石川県
地場産業振興センターで地域活性化シンポジ
ウム「環境問題を地域活性化につなげるため
に」を開催しました。

岩手県の葛巻町畜産開発公社顧問(元葛巻
町長)の中村哲雄氏から、「逆境が創造の原点
」地域資源をいかした活性化の方策」と題し
て基調講演をしていただきました。クリーエン
エネルギーや酪農、林業で町おこしした葛巻町の
取組みが紹介されました。

続いて、金沢星稜大学の澤信俊特任教授から
珠洲市での取組み、大野製炭工場(珠洲市)代
表の大野長一郎氏から植林への想いと里山里海
の地域づくり、石川県環境部次長の新広昭氏か
ら石川県の環境、里山対策の補助金政策やアク
シオンプランについて、ご講演いただきました。
一般の方々、本学の教職員・学生ら約100
人が、地域資源をまちづくりに生かす方法を学
びました。



〈活動中の主な事業〉

■「地域連携による地域貢献活動」推進事業(金沢星稜大学地域連携センター)

「能美市産柚子のブランディング」

能美市産柚子の現状把握・分析を行い、学生の視点からブランディングの提案を行う。

担当: 岸本 秀一 経済学部教授/ゼミナール: 岸本専門ゼミ

「親子で作ろう! ふるさと内灘ガイドブック〜ぼく、わたしが教えるよ タブレットの操作〜」

内灘町のガイドブックの作成を学生がサポートし、WEBで発信する。

担当: 佐藤 幸江 人間科学部教授/ゼミナール: 佐藤ゼミ

■大学コンソーシアム石川採択事業

【地域課題ゼミナール支援事業】

「前田利家の出世!小丸山城址公園の集客アップ」

担当: 山本 真嗣 経済学部准教授

【大学・地域連携まちづくり支援プロジェクト推進事業】

「穴水町における地域資源を活かした健康・体力づくり推進策の検討」

担当: 齊藤 陽子 人間科学部講師(代表)、佐野 浩祥 経済学部講師

福井 逸子 人間科学部准教授、池田 幸應 人間科学部教授

【地域貢献型学生プロジェクト推進事業】

「案山子の作成と設置を通じて能登文化の再認識と継承を行い、地域の共同体活動を活性化させるための取組み」

担当: 池上 奨 人間科学部教授/学生グループ名: オープンピアッツァ・KKC・Z

■能登キャンパス構想推進協議会委託事業(能登キャンパス構想推進協議会委託事業)

穴水町における少子化に対応した学生協働型フィールド学習〜乳幼児期に育みたい「故郷教育」の提案〜」

担当: 福井 逸子 人間科学部准教授

■能登ワールドチャレンジ・プロジェクト(能登キャンパス構想推進協議会委託事業)

「穴水町 地域資源を活かした交流人口拡大の可能性調査」

担当: 佐野 浩祥 経済学部講師、奥村 実樹 経済学部准教授

■「学都金沢」地域づくり活動支援事業(金沢市助成事業)

「『しなしなと 金沢』フォトボエムでお出迎え」

担当: 佐藤 幸江 人間科学部教授

■高齢消費者被害防止寸劇出前講座事業(石川県県民文化局県民生活課)

「振り込み詐欺防止作戦 ちょっと怪しいぞ、やっぱり詐欺だ!」

担当: 池田 幸應 人間科学部教授、馬場 治 人間科学部教授/ゼミナール: 池田ゼミナール、馬場ゼミナール

地域連携 センター

さまざまな研究、実践活動を通して、
地域とのつながりを強めていきます。

流星祭情報

大学・短大部の一大イベントである大学祭が下記の日程で開催されます。屋台やステージ企画、学内企画などさまざまなイベントが目白押しです。毎年、学内外の装飾も、スローガンをモチーフに華やかに会場を盛り上げます。ぜひご来場ください。

日程：10月31日(金)、11月1日(土)・2日(日)

今年度の流星祭実行委員長を務める庄田佑斗(経済学部3年次)です。

今年の流星祭(大学・短大部の合同大学祭)のスローガンは「Smile😊」!笑顔あふれる流星祭となるよう、流星祭実行委員一同頑張ります。来場するみなさんが喜んでくれるような新しい企画にもチャレンジしたいと思っていますので、ぜひ笑顔で足を運んでください!



稲置学園星稜基金 スポーツ・文化等課外活動支援の給付者

平成26年4月1日～9月2日までの給付者

個人・団体	所属	申請区分	名 称	個人・団体	所属	申請区分	名 称	個人・団体	所属	申請区分	名 称
個人	高校	スポーツ	矢後 公誠	個人	高校	スポーツ	安田 結実	個人	高校	文化	松岡静莉香
個人	高校	スポーツ	橘 幸佑	団体	高校	スポーツ	陸上競技部女子	団体	高校	文化	天文部
個人	高校	スポーツ	喜多 亮介	個人	高校	スポーツ	岩佐 健太	個人	高校	文化	前坂 馨
個人	高校	スポーツ	中村 優太	個人	高校	スポーツ	毛利直緒人	団体	中学	スポーツ	野球部
団体	高校	スポーツ	レスリング部	個人	高校	スポーツ	上田 聖菜	個人	大学	スポーツ	中村 貴嗣
個人	高校	スポーツ	片口 夢	個人	高校	スポーツ	高田 満吉	団体	大学	スポーツ	準硬式野球部
個人	高校	スポーツ	今井 未来	個人	高校	スポーツ	高田 治吉	団体	高校	スポーツ	野球部
団体	高校	スポーツ	女子テニス部	団体	高校	スポーツ	体操部	個人	高校	スポーツ	北田まあこ
団体	高校	スポーツ	サッカー部	個人	高校	スポーツ	宮野 冬馬	個人	高校	スポーツ	戸部 千晶
個人	高校	スポーツ	林 冴唯正	個人	高校	スポーツ	安藤 諒	個人	高校	スポーツ	岡田 奈巳
個人	高校	スポーツ	叶井 賢太	個人	高校	スポーツ	堺 亮介	団体	中学	スポーツ	ゴルフ部
個人	高校	スポーツ	谷口祥太郎	個人	高校	スポーツ	市川 隆太	団体	中学	スポーツ	サッカー部
個人	高校	スポーツ	吉野 颯流	個人	高校	スポーツ	中野 蘭菜	団体	大学	スポーツ	陸上競技部男子
個人	高校	スポーツ	柳谷 朋美	個人	高校	スポーツ	土屋志絵莉	個人	高校	スポーツ	阿部 雅志
個人	高校	スポーツ	五島 莉乃	個人	高校	スポーツ	平野 里歩	個人	大学	スポーツ	岡室 憲明
個人	高校	スポーツ	南保みなみ	個人	高校	スポーツ	松多 冠奈	個人	大学	スポーツ	加藤 綾一
個人	高校	スポーツ	橋 侑利	団体	高校	スポーツ	トランポリン部男子	個人	大学	スポーツ	鍛冶 有成
個人	高校	スポーツ	佐伯 彩夏	団体	高校	スポーツ	トランポリン部女子	個人	大学	スポーツ	小田 翔太
個人	高校	スポーツ	国谷紀菜乃	団体	高校	文化	囲碁部	個人	大学	スポーツ	吉田 里穂
個人	高校	スポーツ	秋田 理沙	個人	高校	文化	森田 智子	個人	大学	スポーツ	大田 和宏

星稜サ・エ・ラに関するアンケートへのご協力をお願い

いつも『星稜サ・エ・ラ』をご愛読頂き、誠にありがとうございます。

毎号の内容に関する皆様からのご意見を「WEBアンケートフォーム」を通じて頂戴し、

本誌の内容改善に努めてまいります。ご協力いただいた方、抽選で100名様に図書カード(500円分)をプレゼントいたします。

右記ウェブサイトから、アンケートへの回答をお願いいたします。

抽選で100名様に
図書カードをプレゼント!

<http://www.seiry.jp/>

行事スケジュール (10月～12月)

金沢星稜大学

10	5日(日)	創立記念日
	31日(金)～11月2日(日)	流星祭
11	22日(土)	一斉補講日
	24日(月・祝)	通常講義日(勤労感謝 振替日)
	30日(日)	オープンキャンパス(一般入試対策講座)
12	6日(土)	一斉補講日
	16日(火)	卒業研究発表会
		人間科学部 2・3年フィールド成果報告会
	20日(土)	一斉補講日
	26日(金)～1月4日(日)	休業日
	28日(日)	全館休館

金沢星稜大学女子短期大学部

10	5日(日)	創立記念日
	31日(金)～11月2日(日)	流星祭
11	22日(土)	一斉補講日
	24日(月・祝)	通常講義日(勤労感謝 振替日)
	30日(日)	オープンキャンパス(一般入試対策講座)
12	6日(土)	一斉補講日
	16日(火)	補講日
	20日(土)	一斉補講日
	26日(金)～1月4日(日)	休業日
	28日(日)	全館休館

星稜高等学校

10	5日(日)	創立記念日
	6日(月)～9日(木)	中間試験
	10日(金)	追試
	17日(金)	進路研究(1,2年・3年P)
11	1日(土)・4日(火)～7日(金)	教育ウィーク(学校・授業公開)
	25日(火)～29日(土)	1年期末試験
12	1日(月)	1年追試
	2日(火)～6日(土)	2,3年期末試験
	3日(水)～6日(土)	1年修学旅行
	8日(月)	2,3年追試
	15日(月)・16日(火)	1,2年体育大会
	16日(火)	保護者懇談会(3年)
	17日(水)・18日(木)	保護者懇談会
	17日(水)	再試
	19日(金)	終業式・全国大会激励会
	20日(土)・22日(月)	補充・補習
	24日(水)～26日(金)	

星稜中学校

10	5日(日)	創立記念日
	7日(火)・8日(水)	中間試験
	15日(水)	運動会
	16日(木)・17日(金)	運動会予備日
	21日(火)	3年補充(～1/23)
	29日(水)～31日(金)	2年修学旅行
	31日(金)	1,3年体験学習
11	1日(土)・4日(火)～7日(木)	教育ウィーク(学校・授業公開)
	16日(日)	学校見学会
12	2日(火)～4日(木)	期末試験
	6日(土)	体育大会
	16日(火)	講演会
	17日(水)・18日(木)	保護者懇談会
	19日(金)	終業式
	19日(金)～22日(月)	補充

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

10	1日(水)	入園願書受付開始
	3日(金)	いもほり遠足(年長組)
	5日(日)	創立記念日
	6日(月)	寺井先生の「子育てを応援する講演会」
	7日(火)	遠足(年中組)
	8日(水)	とらいランド参観(つき組)
	10日(金)	遠足(年少組)
	14日(火)	遠足(年長組)
	15日(水)	とらいランド参観(ほし組)
	20日(月)	観劇
	22日(水)	誕生会参観
	25日(土)	親子で歩く歩育ラリー
11	6日(木)	誕生会参観
	13日(木)	星稜子育てステーション
	27日(木)	表現遊びの会(つき組・ばら組・りす組)
	28日(金)	表現遊びの会(ほし組・ゆり組・うさぎ組)
12	4日(木)	避難訓練(不審者)
	5日(金)	誕生会参観
	6日(土)	入園説明会
	9日(火)	ABCランド参観(ほし組)
	11日(木)	もちつき(予定)
	12日(金)	星稜子育てステーション
	13日(土)	年長希望懇談会・ミニバザー
	16日(火)	ABCランド参観(つき組)
	18日(木)	クリスマス会
	19日(金)	終業式

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園

10	1日(水)	入園願書受付開始
	2日(木)	いもほり遠足(つき組・ばら組)
	3日(金)	いもほり遠足(ほし組・すみれ組)
	5日(日)	創立記念日
	7日(火)	ABCランド、子育て広場
	9日(木)	遠足(年長組)
	10日(金)	キッズサッカー
	14日(火)	ABCランド
	15日(水)	キッズサッカー
	16日(木)	遠足(年中組)、子ども相談
	17日(金)	キッズサッカー(にこにこ参観・年長組)
	18日(土)	親子活動(クッキング)年少組・いちご組
	20日(月)	遠足(年少組・いちご組)
	22日(水)	キッズサッカー(にこにこ参観・年少組)
	24日(金)	とらいランド
	28日(火)	アルバム用個人写真撮影日
	29日(水)	キッズサッカー(にこにこ参観・年中組)
	30日(木)	誕生会参観
	31日(金)	とらいランド
11	5日(水)	交通安全教室
	7日(金)	避難訓練
	10日(月)	子育て広場
	12日(水)	子ども相談
	13日(木)	誕生会参観
	15日(土)	キッズクラブ
	27日(木)	表現あそびの会
	28日(金)	表現あそびの会
12	3日(水)	もちつき
	5日(金)	とらいランド参観(つき組)
	10日(水)	誕生会参観
	12日(金)	とらいランド参観(ほし組)
	15日(月)	子育て広場
	17日(水)	子ども相談
	18日(木)	ハローサンタの会
	19日(金)	終業式
	20日(土)	同窓会

あとがき

「楽しかった」「暑かった」「感動した」そんな会話が多く聞かれた今年の夏でした。それぞれの夏の元気いっぱいの笑顔をお届けします。

学園はいつのまにか秋の気配を感じるようになりました。空がすっきりと晴れ渡り、校舎には心地よい風が吹き抜けます。「小さな親切」「小さな一言」さまざまな経験が新しい自分発見につながるように邁進してほしいと思います。

大学図書課 池端紀子



学校法人 稲置学園

金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部

石川県金沢市御所町丑10番地1
TEL 076-253-3924(代表)
<http://portal.seiryō-u.ac.jp/>

星稜高等学校

石川県金沢市小坂町南206番地
TEL 076-252-2237(代表)
<http://www.seiryō-hs.jp>

星稜中学校

石川県金沢市小坂町南206番地
TEL 076-252-2237(代表)
<http://www.seiryō-hs.jp>

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

石川県金沢市御所町寅27番地
TEL 076-252-5057(代表)
<http://kinder.seiryō.jp/seiryō/>

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園

石川県金沢市泉野町6丁目17番30号
TEL 076-244-5636(代表)
<http://kinder.seiryō.jp/izumino/>